

道徳通信

野々市市立野々市中学校 令和3年 2月16日(火) NO. 8



暦の上では立春を過ぎましたが、依然として厳しい寒さが続きます。3学期もあっという間に折り返し地点です。3年生にとっては最後の勝負である公立入試、そして卒業式がいよいよ迫ってきました。1日1日を大切に過ごしていきましょう。

さて、今回の道徳通信では3学期に行なわれた1・2年生の道徳授業についてご紹介します。

1年生の授業 「『看護する』仕事」から

2月4日(木)に、実際に働いている人から話を聞く「職業講話」が行われました。それに先立ち、道徳では助産師の宮原美保さんの話を読み、その生き様から学びました。

「人がいきいきと輝いて働くために必要なことは何だろう？」

- ・仕事にやりがいを感じる。 ・自分の夢を持って仕事をする。 ・楽しんでやること。 ・高い給料
- ・相手のことを考える。 ・大変でも達成感を持つこと。 ・感謝されること。 ・自分の力を認めてもらえる。
- ・良好な人間関係 ・良い上司 ・自分が「幸せ」とか「嬉しい」と思える瞬間
- ・自分のやりたいことを全力でやれること。 ・相手を思いやり、自分も相手も笑顔になれるようにする。

～振り返りより～

- ・仕事に誇りを持ってやったり、自分の夢を持って仕事をしたりするって素敵なことだと思いました。未来の自分は何をしているかわからないけど、どんなに困難な仕事でも一生懸命にやり遂げられる人になりたいです。
- ・人に認められることが仕事をするうえで重要だと思いました。
- ・私もやりたいことを見つけて、「ずっと続けたい」と思える仕事に出会いたいです。

2年生の授業 「妹に」から

11月に実施された「性教育講座」をうけ、2年生では学年で共通して「命」に関する授業を行ないました。



～振り返りより～

- ・「あなたの笑顔や寝顔は全てをながしてくれる」が感動した。悩むときはないとは言えないけれど、顔を見るだけで全てを流してくれる妹を愛していることが伝わってきた。
- ・命はつながっているのだと感じた。自分の命も家族の命も大切。だから、家族を大切にしていきたいと思った。
- ・私も赤ちゃんを抱いたことが何回かあって、それはとっても心が満たされて守りたくなるような気持ちになったので人を大切に思う気持ちは大事だと思った。
- ・命ってすごいと思いました。今、生きているということはとてもすごいことなんだと改めて感じました。
- ・命はずっとつながっているから、一人一人が自分も他の人の命も大切にしなきゃいけないと思う。
- ・命の大切さ、愛してくれている人がいることを改めて実感した。
- ・だれかの助けがないと命がつながっていかないのだと感じました。

野々市中学校における自問の取組

野々市中学校では、平成22年度より自問清掃の取組が行なわれてきました。掃除(作業)することを手段として「心の成長」を図るとともに、自主性を伴う「強い意志」をはぐくむことを目的としています。1学期はコロナ禍のため実施を見合わせていましたが、2学期の運動会後から徐々に再開し、3学期も継続して自問に取り組んでいます。自問で培われる力は、道徳教育が目標としているものと大きく関連しています。

◆◇自問清掃で高められる3つの力◇◆

- ①がまん玉 …… 「がまんして最後まで粘り強く行動する力」(強い意志)
- ②見つけ玉 …… 「新しい自分と出会うために工夫する力」(豊かな創造性)
- ③親切玉 …… 「人への優しさや気を配れる力」(思いやりの心)



～自問ノートより～

10月の始めの頃は、無理やり掃除をさせられている気分が強かったけれど、日がたつにつれて、「きれいになったら気持ちがいい」と思うようになりました。「きれいにするぞ」と掃除をして、きれいになったらすごくうれしくなったりして、自問清掃の楽しさが少しわかった気がする。(1年生)

最近寒くなって、水に触れたくないからと、ほうきで掃除をしていることが多くなっていた。もっと「がまん玉」を身につけて、自分らしい自問をしたい。(1年生)

3年生のノートの放送を聞いて、今私たちがやっている自問清掃が、いつか役に立つときがくるということがわかった。これからも頑張っていきたい。(2年生)

私は自問清掃が面倒くさくなくなりました。1年生や2年生の時は、毎日「今日も自問清掃があるな…」と暗い気分で作っていました。でも、3年生になって、自分の自問清掃をする目標がはっきりしてきて、前向きに取り組めるようになりました。自分の中でこれは大きな変化だと感じています。(3年生)

今日は私立受験が終わって最初の自問でした。今までに比べて少し気が抜けている行動をしてしまったので、改めて気を引き締めていけないと思いました。気持ちを切り替えていこうと思います。(3年生)

今年度の自問清掃の目標は「一人ひとりの心の成長」です。自分の心がどれくらい成長しているのかは目には見えません。しかしながら、その日、その時、自問清掃で考えたことや感じたことを書き残している自問ノートにこそ、成長の跡が残されているのではないのでしょうか。「自分の弱さ」を認め正直に振り返ることも成長につながる一歩です。今一度みんなで、自分自身と向き合う「自問」の時間を大切にしていきたいと思います。